

2024 年 9 月 6 日

2024 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 県北報公会

ホーム名 自立援助ホーム ようせい

代表者・役職名 氏名 ホーム長 津谷 正毅

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成事業の名称

利用者居室にエアコンを設置、暑い夏を快適に過ごし、仕事を頑張ろう！事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設を退所し就職したが失敗しても帰る場所がない児童や、児童養護施設を退所する年齢になっても、自立生活が難しい(支援校卒業者や貯蓄が少ない)児童の生活の場を作り、共同生活を行いながら自立の準備をする居場所を作る目的で設立しました。

男女混合、6名定員

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

温暖化が進み、昨年は最高気温が 38.9 度を記録し、寝苦しい日が続きました。入所者の殆どが虐待体験者です。過酷な環境で育ってきたなか、ホームでも寝苦しい日々を過ごす事に心苦しく感じました。利用者居室にエアコンを設置し、快適な環境で過ごし、健康で安全な生活の中で仕事を頑張って欲しいと思います。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

利用者が継続して就労が出来るようになるために、ホームが住み良い環境を提供する。

利用者が仕事から帰ってきてゆっくり過ごせる時間と睡眠確保のため、出来るだけ多くの居室へ、エアコンの設置工事を完了させる。

夏前までに、居室へエアコン設置のための電気工事、居室へエアコン設置箇所を決め、壁に取り付けを行う。室外機設置場所は落雪を避けるために、外壁上部に架台を設置する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

児童居室にエアコンを設置出来たため、利用者は安心して居室で過ごすことができるようになりました。室温が快適に保たれることで、しっかりとした睡眠を確保でき、利用者の健康状態も改善されました。これにより、利用者は仕事にたいしても積極的にとりくめるようになり、欠勤することなく勤務を続けられています。

エアコン設置によって、利用者の生活環境が向上し、安定した生活リズムを確保できるようになりました。このような変化は、利用者の社会的自立を支援する上で非常に重要な成果であり、今後の生活の質の向上にも大きく寄与しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

エアコンの設定温度を26度以下にしないことと決めたものの、利用者が自室で使用していきい26度以下で設定しても職員には分からず、自己管理が難しい状況です。そのため、正しいエアコンの使い方を身につけることが課題となっています。一人暮らしを始めた際には、室内環境を適切に管理し、節電に繋げることができるようになることが望まれます。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

